



アンケートから見る 市民の声は？

安田 佳世（久比岐野）



Q 令和8年市民の声アンケートの結果はどうか。

A 自然の豊かさや治安の良さを実感している人が多い一方、観光・交流や公共交通を課題と感じる声が多い。前回の令和4年調査との比較では、街並みや景観に関する実感の高まりがみられた一方、出産・子育て、医療、地域活動といった生活に密着した分野での低下がみられた。結果から明らかになった当市の課題は何か。

A 「公共交通の利便性」のように、バス路線の再編や減便等によって満足度が連動して低下がみられるなど、施策に直結する課題を改めて確認した。また「地域活動や市民活動への参加」や「上越市に住み続ける意向」の低下に見られるように、最大の課題である人口減少問題と関わりの深い項目で厳しい傾向が見られる。

魅せる観桜会に向けた今後の桜の管理は

Q 高田城址公園の桜はエリアによって高齢化が目立つが、植え替えや植樹の考えはないか。

A 「高田城址公園桜長寿命化計画」により、適正な樹木管理と計画的な世代更新に取り組んでいる。適切な植栽間隔を確保するため、伐採数が植栽数を上回っているが、現存する木の長寿命化と世代更新のバランスを考慮しながら、適切な管理を行っていく。



頼朝の鎌倉に拠った 越後府中を宣伝すべき

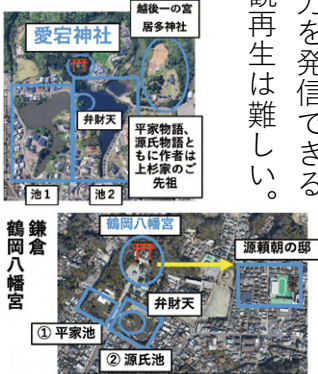
牧井 邦生（みらい）



Q 以前から一般質問で扱っている謙信公と上越高田のまちづくりの話は、与党や歴史番組制作の業界内で評判が高く、4月にマクロン仏大統領が訪日した際、高市総理とかめはめ波ポーズで日仏の親善を図ったのは記憶に新しいところである。先日には大河ドラマの時代考証者が春日山に来て、鬼門の大切さを説いた内容が全国放送された。業界内で謙信公が征夷大將軍と同等であったと評判が高まっている。また、頼朝の鎌倉というキーワードを示唆頂き、鎌倉を踏まえて越後府中を調べれば、愛宕神社周辺が鎌倉の鶴岡八幡宮とそっくりで、居多神社、親鸞聖人関連施設とパワースポットを形成している。愛宕神社は直江兼続の兜の由来であり、朝ドラ主人公の見上愛さんと同じ漢字でもあり、このタイミングで愛宕神社を全国に宣伝すべきでないか。また、大名行列の道の景観を再生するために加賀街道沿いの無電柱化や松の植樹をすべきでないか。

A 愛宕神社の魅力を発信できるように検討する。景観再生は難しい。

Q 市長の答弁を踏まえ、上越における歴史の価値が伝わるよう、私も伝え方を工夫する。



性的同意の重要性の 啓発を

平良木 哲也（日本共産党議員団）



Q 性的同意に関して、より積極的な発信、取組が必要と考えるがどうか。

A 同意のない性的行為は性暴力であり重大な人権侵害である。夫婦・恋人の間でも起こり得る。自分と相手を大切にする関係づくりの重要性の理解は、市の重要課題であり、市民の理解促進につながるよう、適時適切な啓発に努める。

Q 啓発チラシはどれだけ配布されているか。

A 町内会で班回覧をしてもらっている。

Q 「命の安全教育」の教材は、市内何校で活用されているか。

A 指導の充実は周知したが、把握していない。児童生徒の間にはゆがんだ性情報が広がっている。性暴力の結果としての妊娠に至る経過を教えずに、性感染症や性暴力から守る知識を教えるのは非常に困難だ。性交について一律には教えないという方針は変わっていないのか。

A いわゆる歯止め規定の取り扱いには、必ずしも「やってはいけない」ということではなく、発達段階に応じてやるべきはやってよいとされている。間違った知識が多く流布されている状況なので、正しい知識に基づいて適切な行動が取れるよう、場合によっては歯止め規定を踏まえつつも、教えるべきことはしっかり教えるというスタンスで臨んでいく。